

令和7年度第1回千歳市公営企業経営審議会 会議録

日 時 令和7年10月29日（水） 14：00～15：00

場 所 千歳市水道局2階会議室

出席者 別紙名簿のとおり

1 開会

2 公営企業管理者挨拶

3 水道事業・下水道事業紹介動画視聴

4 議事

(1) 報告事項

① 令和6年度千歳市水道事業会計決算について

資料に基づき内容を説明。

(説明者)

経営管理課財政係 飯塚主任

【質疑等】

(委員)

5ページのラピダスのパイロットラインの必要だった事業費ということで決算支出があがっているが、国の補助金が半額ほど出ていると承知している。工事にかかっている費用を回収するとなるとどれくらいかかるのか。(下水道についての質問)

(事務局)

5ページに関しては、上水道の部分になる。下水道については後ほど説明する。この部分については、4,000m³をパイロットラインに運ぶための費用になり、おおよそ14億円かかっている。費用については、水道局で企業債を借入れし、償還することになるが、償還については、市(一般会計)から繰入れすることになっている。

14億円の回収期間については、1m³当たり159円なので、ラピダス社が毎日4,000m³使用すると、1ヶ月当たり、2,000万円ほどになる。年間にすると、2億4,000万円ほどなので、割り返すと、6年くらいはかかる見込みである。

② 令和6年度千歳市下水道事業会計決算について
資料に基づき内容を説明。

(説明者)

経営管理課財政係 鈴木主任

【質疑等】

(事務局)

委員から水道事業の決算説明の際に質問があった下水道の費用回収について、回答する。

下水道については、事業期間が令和5年度から令和8年度までとなっており、現在建設中である。全体の事業費が予算ベースで、約147億円となっている。

そのうち、約5割が補助金となり、残りの72億円について、企業債を借入れし、償還していくこととなっている。償還期間は25年～30年と考えているが、その間の利息が約17億円と考えており、合計して90億円が水道局の負担になると考えている。これに対し、ラピダス社から受け入れる汚水の量は、新聞報道等でご存じと思うが、1日当たり28,000m³となり、(千歳市の)水道で供給する4,000m³と安平川から24,000m³の水を引き込む工事を行っている。この合計28,000m³を千歳市の浄化センターで受け入れることになることから、1m³当たり、約103円で計算すると、年間で11億5,000万円の収入が入る。企業債で借り入れる90億円で割り返すと、8年弱で回収できるという計算をしている。予算ベースではこのように考えている。

(委員)

たとえば、ラピダス社の関係で、企業誘致が進んでいて、進出企業が増えていると認識している。これによって新しい工業団地も作っているが、そこに工場などができると、排水管も必要になると思う。企業数が増えれば収入も増えるので、こうした設備も増えた収入で賄えると認識しているが、このような認識でよいか。

(事務局)

ラピダス社の工事に関する部分について、工事費と年間に想定できる収入との対比で回答した。会計上の部分としては、減価償却費など、もっと長い年数をかけることになるが、ラピダス社の部分については、回収できる見込みはあると認識している。

周辺に他の企業も進出してきており、新しい工業団地を造成し、これに伴う施設整備も必要になるが、どういう企業が進出するのかについては、まだ不明確な部分が多く、水道局としてこうした情報を受けながら、これに対応できる施設整備を行っていききたい。

一つの考え方としては、新しい企業が入ることを理由に、市民の皆さんに、「料金を上げていく」というようなことは好ましくないと考えている。水道局の施設は、数十年の単位で事業を行っていく施設であるが、毎年毎年、古くなっていく。これに合わせて、施設の整備を行う必要もあり、場合によっては建て替えをしなければならない。こういうことが必要になってくるのが、これからの時期である。

決算の状況でも説明したが、管の老朽化率や更新率は、もっと更新していかなければならない状況になりつつある。八潮市のような道路陥没に至るような状況の悪い管はないが、それでも、古い管はどんどん更新していかなければならない。こうしたことをしっかりとやっていくためには、工事費というのはどうしても費用がかかることから、今の市民のみなさんが使っていただいている設備を維持するための施設整備ということに、費用が必要であるという時期があまり遠くない時期に来る可能性がある。これをどうやって進めていくかについては、よく検討し、今後の経営について、こういう見込みであることをお話ししながら、ご相談させていただきたいと考えている。

(委員)

経営計画は、10年計画だと認識している。そろそろ中間見直しの時期になると思うが、全国的

に見ても、ここまで変動の激しい街はないと考えている。企業が順調に進出すれば、人口も増え、収入も増えるので、今後水道料金の値上がりはないと考えているが、実際のところはどうなのか。

(事務局)

水道料金については、令和6年に改定を予定していたが見送りしている。令和6年度決算について、経営計画との比較を申し上げたが、収益は大きく落ち込み、費用は増えているという状態になっている。

ここにラピダス社が進出したことによって、新たな収益として出てきているので、収入は増えていくだろうと考えている。

新しい整備にかかる費用ではなく、古い施設関係の整備費用が、令和6年度に改定しなかったことに伴い、整備費用を抑えた予算になり、後年度に先送りした状況になっている。

これらを今後、どのように対応できるかを考えていかなければならないため、今この場で、「料金改定はありません。」とは言いにくいですが、こうした影響をできる限り発生しない状況を模索しながらも、料金改定が想定されるような状況になれば、審議会でご相談させていただきたい。

経営計画は、来年度に中間見直しを実施する。中間見直しではあるが、来年度から10年間をさらに見直して、スライドさせながら実施していく予定である。

(委員)

老朽化について。千歳市に限ったことではなく、多くの自治体が直面している課題であり、上水・下水ともに更新の課題を抱えていると思う。

さきほど値上げの件について、個人的な意見であるが、更新を先送りにしても、いずれは更新しなければならない。市民としては、値上げがないことが望ましいが、千歳市の上下水道料金は、やや安い状況であるし、水質も非常に良いので、これを守っていくためには、市民に説明し、ある程度(値上げについて)理解していただくことも必要なのではないかと考えている。

更新を先送りすることなく実施し、これに伴う値上げも仕方ないと思うが、どのように考えているか。

(事務局)

おっしゃるとおりで、先送りしていてもいつかは整備しなければならない時期が来るので、先送りしすぎてしまうと、八潮市のような道路陥没につながり、下水道が使えない、水道が断水する、ということが頻発することになる。

これはサービスの低下になるので、こうした状況にならないよう水道・下水道としては、長い間、安定して安全にサービスを提供することが第一のことなので、この点を踏まえながら、良く考えていきたい。

やみくもに新しくすればいいということではないので、この点を見極めながら、今後の設備の更新計画・経営計画を検討していく。出来上がった際には、この審議会で見聞等をいただきたいと考えている。

(委員)

今の質問に関連して、老朽化の対策に国から補助金が出るというようなことはあるのか。

(事務局)

八潮市の事件を受けて、全国的に下水管の調査を行っている。本市も11月に調査を実施するが、老朽化が進んでいるのが下水道管になる。全国で調査しているのは、口径が2,000mm以上の管であるが、本市には、2,000mmを超える管はごくわずかしかなく、この管については、市独自で調査を終えていて、状態としては、問題がない状況である。

(委員)

八潮市の規模の管はないということによいか。

(事務局)

まったくないというわけではないが、一部の区間にあり、距離数はそれほど長くなく、管の状態も腐食は進んでいないことから、今すぐに何か対応をしなければならないという状況ではない。

国も全国で老朽化が進んでいるところが多いので、こうした支援に動くための支援策を準備すると思われる。

本市は、こうした緊急の支援を受けるような状況ではないが、更新をやっていかなければならない箇所があるので、更新に取り組んでいくという状況である。

5 その他

【質疑等】

(委員)

資料についてであるが、類似団体との比較が記載されているが、この類似団体というのは、道内の自治体であれば、どういう自治体になるのか。

(事務局)

類似団体については、人口が5万人以上10万人未満の団体を指している。近隣では、恵庭市になる。道内では7～8団体あるが、この類似団体の平均値は全国の平均値を記載している。類似団体となっているが、地域性などもあるため、類似団体の平均値と比較することは適切ではない部分はある。

(委員)

水道の給水人口と給水戸数、下水の処理区域内人口・排水戸数の違いについて教えてほしい。

(事務局)

給水人口は、住民基本台帳に登録されている人の数、給水戸数は、実際に使用している水道メーターの個数(戸数)になる。

給水戸数は、市全域に上水を供給しているが、排水については、排水処理区というものがあり、市内でも公共下水道が整備されているところと整備されていないところがある。

このため、給水人口と処理区域内人口、給水戸数と排水戸数に差が生じている。

6 閉会

以上